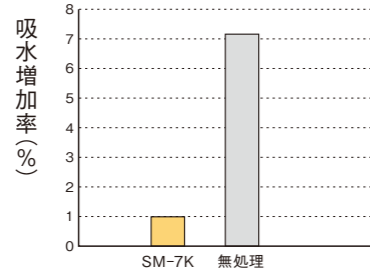


# 性能

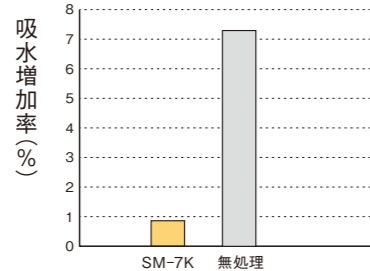
## 吸水防止性



7×7×2cmの1:2モルタルに材料を300g/m<sup>2</sup>塗布し、7日間室温にて養生後、水道水中に全面浸漬し、7日後の吸水増加量を測定した。吸水増加率は、次の計算により求めた。

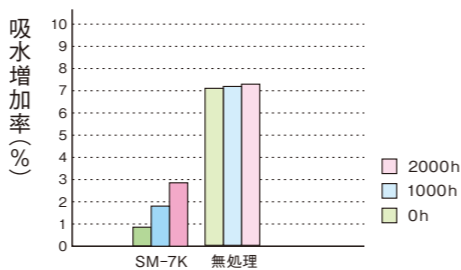
$$\text{吸水率 (\%)} = \frac{\text{7日後の重量} - \text{試験前重量}}{\text{試験前重量}} \times 1000$$

## 耐アルカリ性 (飽和水酸化カルシウム溶液浸漬)



7×7×2cmの1:2モルタルに材料を300g/m<sup>2</sup>塗布し、7日間室温にて養生後、飽和水酸化カルシウム溶液に全面浸漬し、7日後の吸水増加量を測定した。

## 耐候性



7×7×2cmの1:2モルタルに材料を300g/m<sup>2</sup>塗布し、7日間室温にて養生後、促進耐候試験機で紫外線を1000時間、2000時間照射し、水中に浸漬して吸水増加量を測定し、初期の吸水率と比較を行った。



# 包装単位

コンフィックスSM-7K 12kg缶

## 施工・保管上の注意点

- 【塗装面の調整(新設)】
- ①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レイタンス等を完全に除去して下さい。
  - ②セメント質下地は、表面の含水率10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要。
  - ③雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。
  - ④打放しコンクリート面は、できる限り均質・均一な面であることが望ましく、巣穴、ジャンクがないことが理想ですが、補修する場合は躯体と同色で吸込みが同程度のセメントペースト、モルタルで補修して下さい。
  - ⑤目印にはコンクリートの表面を汚す墨だし、傷をつけるケガキは避け、コンクリート面に跡が残らないものを使用して下さい。
  - ⑥屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
  - ⑦使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。
  - ⑧はり、突出部分、木繊維などの除去には、周りを傷つけないディスクサンダーを使用せず、タガネでは取り切れない。
  - ⑨無型剤、油脂等が付着している場合、シンナーで拭き取って下さい。
  - ⑩破損部分、亀裂部分、巣穴はモルタルでセメントノロで補修して下さい。この時、補修面がそのまま現れますので、できるだけ色を合わせて補修して下さい。
  - ⑪エフロ(白華)、レイタンスは、ワイヤーブラシ、サンドペーパー、サンダー等で取り除いて下さい。又、エフロが固着して除去するのが困難な場合には、予め表面に散水して飽水してから0.1N程度の稀塩酸を布に湿し、表面を軽く拭き、ただちに水洗いをして下さい。酸洗いをする場合は梅雨期の湿気の高い時期は控えて下さい。
  - ⑫欠損部分がひどい場合は、ポリマーセメント比5%以下の補修材による処置を施して下さい。
- 【材料の保管・管理】
- ①開封した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
  - ②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5～25℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
  - ③コンフィックスSM-7Kは危険物ですので、火気や換気に充分注意して下さい。
- 【施工】
- ①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生して下さい。
  - ②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。
  - ③コンフィックスSM-7Kは、希釈しないで使用して下さい。
  - ④塗付けは必ず2回塗りまたは下地の状況(ALC、軽量コンクリートブロックなど吸込みが著しい場合等)によっては、3回塗りして下さい。塗布量は下地の種類によって工程表の標準値よりも増えることがあります。
  - ⑤新しいコンクリート、モルタル面は、夏期1週間、冬期2週間以上放置乾燥後塗布して下さい。下地に水分があると浸透を阻害しますので十分に下地を乾燥させてから塗布して下さい。

- ⑥材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。
  - ⑦乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
  - ⑧コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
  - ⑨下地が十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、剥離等の生じる原因となります。
  - ⑩施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一平面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
  - ⑪本施工に入る前に試験塗りをし、塗布量を確認して下さい。
  - ⑫常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
  - ⑬安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
  - ⑭塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
  - ⑮塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
  - ⑯使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
- 【安全衛生上の注意】
- ①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
  - ②取扱いは、手洗い及びうがいを十分に行なって下さい。
  - ③子供の手の届かない所に保管して下さい。
  - ④作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
  - ⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
  - ⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
  - ⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
  - ⑧中身を使い切った後は、容器を空にしてから廃棄して下さい。
  - ⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。
  - ⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 【その他】
- ①塗布用具や容器は洗浄で、乾燥したものを使用して下さい。また、用具の洗浄は、ラッカーシンナーでして下さい。
  - ②ガラス、プラスチック、金属及び木材には養生して下さい。これらに付着したコンフィックスSM-7Kを除去する場合は、ラッカーシンナーを使用して下さい。
  - ③その他、詳しくは取寄の各営業所へお問い合わせ下さい。
  - ④施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕掛書等をご確認ください。
  - ⑤施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認ください。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/>にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

(24.6月現在) 24.06.100 SJ

# コンフィックス SM-7K (建築用) F★★★★

浸透性 シラン系吸水防止材



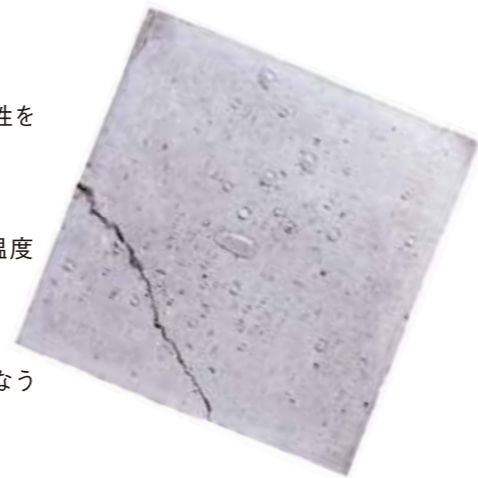
吸水による  
コンクリート建物の劣化防止と保護に

# 塗布するだけでコンクリートの劣化・汚染を防止する、 浸透性吸水防止材《コンフィックスSM-7K(建築用)》

コンフィックスSM-7Kは特殊シラン系化合物と変性シラン系化合物とを主成分とした浸透性吸水防止材です。コンクリートなどに塗布することにより、特殊シラン系化合物は、毛細管空隙に深く浸透し、強力な吸水防止層を形成し、さらに、変性シラン系化合物が処理面の表面層に強固な疎水層を形成して吸水によるコンクリート建造物の劣化を防止し保護します。

## 特長

- ①優れた浸透性をもっています。  
分子構造が非常に小さいため、コンクリート下地の毛細管に容易に浸透します。
- ②雨水などの外部からの水の侵入を強力に防ぎます。  
特殊シラン系化合物の強力な吸水防止層と変性シラン系化合物の強固な疎水性の組合せで外部からの水の侵入を阻止します。
- ③優れた透湿性をもっています。  
外部からの水は通さないが、内部の湿気は外部へ排除する透湿性をもっています。
- ④耐水性の優れた保護層を形成します。  
躯体の内部に浸透した保護層は、紫外線の影響を受けず、熱や温度変化に対しても安定で、長期間吸水防止性能が持続します。
- ⑤建物の外観を損なうことなく仕上がります。  
躯体表面に塗膜を形成することがないため、塗布後の外観を損なうことなく、また、変色することはありません。
- ⑥コンクリートの美観を維持します。  
雨の日も打ち放しコンクリートにできる雨水の濡れ色がなく、コンクリートの美しさを保ちます。



## 用途

### 1 塩害防止

倉庫港湾施設など海浜地域・埋め立て地域のコンクリート建築物に



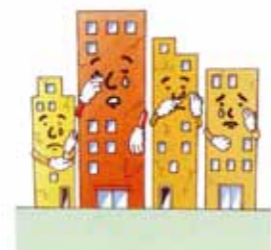
### 2 凍害予防

寒冷地域のコンクリート建築物に



### 3 劣化防止

コンクリート建築物・コンクリート二次製品などに



### 4 白華・汚染抑制

コンクリート建築物・コンクリート二次製品などに



## 適用下地

- ①現場打ちコンクリート、モルタル
- ②PCパネル、セメント二次製品
- ③ALC板・レンガ等の表面保護材

## 施工



刷毛・ローラーで塗るだけの簡単施工。吹付塗りもできます。  
施工下地は次のことに注意して下さい。

- ①ゴミ・汚れ・油脂類・レイトランス等は取り除いて下さい。  
きれいに仕上げるための下地清掃です。
- ②脆弱部分がある場合は取り除いて下さい。  
固着する力はありません。長持ちさせるために行なって下さい。
- ③補修跡は残ります。  
無色透明で素地を生かした仕上りですので、補修跡がある場合はそのまま残ります。
- ④下地は乾燥させて下さい。  
含水率10%以下で施工して下さい。

施工する時は次のことに注意して下さい。

- ①次の時は施工を避けて下さい。  
降雨・降雪・強風などの時。
- ②次の場所には養生して下さい。  
ガラス・プラスチック・金属および木材・植物・その他コンフィックスSM-7Kで溶解するおそれのあるもの。これらの養生には、厚手のシート類で行なって下さい。
- ③塗装するときは  
吹付塗りの時は、低圧で下地に近づけてムラがでないように塗布して下さい。

標準所要量		塗回数
コンクリート モルタル等	0.3~0.4kg/m <sup>2</sup>	2
ALC、レンガ等の 吸水性基材	0.5~0.6kg/m <sup>2</sup>	3

※必ず2回以上に分けて施工して下さい。

## 性状

外観	無色透明低粘度液体
主成分	シラン系化合物(モノマー系)
比重(20℃)	約0.88
表面張力	約28.5 dyne/cm
引火点	約28℃
溶剤	芳香族系溶剤